

保護者説明会記録（山春）

日時：2025年9月2日（火）19時～20時

場所：山春コミュニティセンター

参加者：31名

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山コンサルタント

- ・香春町立香春思永館が先進事例とはなぜか？

→県内でも数少ない、義務教育学校の先進事例。

- ・吉井町の方は小中学校統廃合の案が出ているのか？

→現在は浮羽町域のみ。

- ・将来人口を見据えて、もっと長い目での視点はいかがか？

→現時点では、浮羽町域についての再配置検討をしている。

- ・小中一貫校の話は、今後5年以内ということだが、大石小と山春小をまず統合するという案はないのか？

→検討委員会では、そのような案は出でていない。

- ・浮羽中にについて、現状でも駐車場が狭いが大丈夫か？

→できるだけ駐車場を確保する予定。

- ・うちの子は3人とも5年以内に卒業する。できるだけ、学校生活に支障のない施設整備にして欲しい。

→学校生活にできるだけ支障がないように配慮したい。

- ・4つの案のうち、市が最適と考える案はどれか。また、学校の形式のうち、義務教育学校、小中一貫校のいずれの形式とするのか。

→検討委員会では、全体の方向性として案1になっている。今後、市全体での協議となる。

→義務教育学校か小中一貫校かは決まっていない。

- ・この4案は、予算的には可能なのか？

→国の補助を活用しながら整備したいと考えている。

- ・新築に当たっての、建物に対する考え方は決まっているのか？

→一般的に考えた場合の比較検討により、案1になっている。建物の詳細についてはまだ決まっていない。

- ・5年間は短く思える。どのような流れで、最終的にどこが決定するのか？

→あり方委員会から出された意見をまずは教育委員会に提案する。それを踏まえて、教育委員会で基本構想・基本計画を作成し、市長や議会の審議を得て決定される。

- ・義務教育学校と小中一貫校のメリット・デメリットを説明してほしい。

→小中一貫校は建物が統合するだけで、小中学校は別のまま、2つの学校が連携する形式。義務教育学校はそれをもっと発展させた9年制で考え、法律上も1つの学校として統合し、9年間一体で運営する形式。

義務教育学校は、学校運営が一つにまとまるので、先生たちの連携がスムーズになる、行事やカリキュラムを自由に組めるので、地域や子どもに合った教育ができる、9年間で一体的に学べるので、子どもが安心して成長できるといったメリットがある。一方で、教員にとっては小中学生両方の授業を担当するなど負担がかかる

点もある。

・香春町立香春思永館について、不登校児が減ったとか効果はあったのか？

→不登校児が減ったかどうかは確認できていないが、中学生の荒れは減ったと聞いている。

・香春町の統廃合の移行の仕方は？

→統合された元・勾金中学校の敷地内に建設されており、隣接している運動場も活用しながら一括で開校していると思われる。

・質問ではなく感想だが、杷木小学校に努めているが、人手不足で教職員は大変。小中学校の先生が相互に協力できる「義務教育学校」にして欲しい。統合されて効率化されると教職員にも余裕がうまれてより良い教育環境につながる。もう1点、各小学校の良さを活かした新しい学校にして欲しい。例えば、山春小学校の茶摘み行事等、既存の小中学校の行事を残すなど、独自のカリキュラムをうまく残して欲しい。

以上